



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6408 URL https://www.oguraclutch.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,058	23.5	△57	—	△16	—	△69	—
2021年3月期第1四半期	8,142	△23.2	△117	—	△159	—	△200	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 373百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 △291百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△46.24	—
2021年3月期第1四半期	△133.86	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	43,483	15,448	34.5	10,029.81
2021年3月期	42,020	15,280	35.4	9,945.82

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 15,012百万円 2021年3月期 14,886百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,100	22.3	620	—	670	—	420	—	280.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,553,323株	2021年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	56,544株	2021年3月期	56,534株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,496,782株	2021年3月期1Q	1,496,863株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からいち早く回復していた中国が引き続き堅調に推移し、米国や欧州等でもワクチン接種の普及や経済対策などにより経済活動の正常化が進み、全体的には回復基調となりました。また日本経済においても、設備投資の持ち直しや輸出の増加などが見られました。しかしながら、足下においては、変異株の感染拡大などの懸念や原材料の高騰化などが顕在化しており、楽観視できない景気状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、10,058百万円と前年同期と比べ1,915百万円の増加(前年同期比23.5%増)となりました。営業損失は57百万円(前年同期は117百万円の営業損失)、経常損失は16百万円(前年同期は159百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は69百万円(前年同期は200百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、コロナ禍からの回復もあり、国内・海外とも売上高が増加しました。特に海外では中国及びインドが好調でした。

その結果、売上高は7,285百万円と前年同期と比べ1,670百万円の増加(前年同期比29.7%増)となり、セグメント損失は71百万円(前年同期は8百万円のセグメント損失)となりました。

#### ② 一般産業用事業

一般産業用事業においても、コロナ禍からの回復に加え、中国市場の設備投資が活発になったこともあり、モーター、工作機械、ロボット業界等の需要が増加しました。

その結果、売上高は2,527百万円と前年同期と比べ258百万円の増加(前年同期比11.4%増)となり、セグメント利益は2百万円(前年同期は114百万円のセグメント損失)となりました。

#### ③ その他

その他では、売上高が245百万円と前年同期と比べ12百万円の減少(前年同期比4.8%減)となりました。セグメント利益は12百万円と前年同期と比べ7百万円の増加(前年同期比154.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、棚卸資産の増加等により28,783百万円(前期末比1,803百万円増)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により14,700百万円(前期末比340百万円減)となりました。その結果、資産合計は43,483百万円(前期末比1,462百万円増)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の増加等により22,716百万円(前期末比1,682百万円増)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により5,319百万円(前期末比387百万円減)となりました。その結果、負債合計は28,035百万円(前期末比1,294百万円増)となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の増加等により15,448百万円(前期末比167百万円増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,405	8,742
受取手形及び売掛金	8,364	8,307
電子記録債権	1,722	2,043
商品及び製品	2,765	3,237
仕掛品	3,047	3,384
原材料及び貯蔵品	2,112	2,415
その他	677	787
貸倒引当金	△115	△135
流動資産合計	26,979	28,783
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,576	4,706
その他(純額)	7,171	6,802
有形固定資産合計	11,747	11,508
無形固定資産		
その他	633	636
無形固定資産合計	633	636
投資その他の資産	2,659	2,555
固定資産合計	15,041	14,700
資産合計	42,020	43,483
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,612	4,173
電子記録債務	4,123	4,535
短期借入金	11,240	11,486
未払法人税等	76	79
賞与引当金	240	90
その他	1,741	2,351
流動負債合計	21,034	22,716
固定負債		
長期借入金	3,767	3,494
繰延税金負債	579	520
役員退職慰労引当金	785	748
退職給付に係る負債	182	189
資産除去債務	15	15
その他	375	350
固定負債合計	5,706	5,319
負債合計	26,740	28,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	11,248	10,975
自己株式	△351	△351
株主資本合計	14,579	14,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	800	716
為替換算調整勘定	△644	△158
退職給付に係る調整累計額	151	147
その他の包括利益累計額合計	307	705
非支配株主持分	393	435
純資産合計	15,280	15,448
負債純資産合計	42,020	43,483

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	8,142	10,058
売上原価	7,010	8,482
売上総利益	1,131	1,575
販売費及び一般管理費	1,249	1,632
営業損失(△)	△117	△57
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	25	22
為替差益	—	16
不動産賃貸料	18	17
その他	27	37
営業外収益合計	75	95
営業外費用		
支払利息	42	38
手形売却損	1	1
租税公課	7	8
為替差損	21	—
貸倒損失	26	—
その他	17	6
営業外費用合計	117	54
経常損失(△)	△159	△16
税金等調整前四半期純損失(△)	△159	△16
法人税、住民税及び事業税	33	64
法人税等調整額	△3	△28
法人税等合計	29	35
四半期純損失(△)	△189	△52
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	16
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△200	△69

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△189	△52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	△84
為替換算調整勘定	△232	514
退職給付に係る調整額	1	△4
その他の包括利益合計	△102	426
四半期包括利益	△291	373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△300	329
非支配株主に係る四半期包括利益	8	44



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、輸出版売について、従来は主に出荷基準及び船積基準により収益を認識しておりましたが、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時点で収益を認識する方法に変更しております。

また、有償受給取引について、従来有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工代相当額のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

さらに、当社グループが顧客から受け取る対価は、値引き、リベート等の変動対価を含んでいる場合があります。顧客から受け取る対価が事後的に変動する可能性がある場合には、変動対価を見積り、その不確実性が解消される際に認識した収益の累計額に重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲で、収益を認識する方法に変更しております。なお、変動対価は、過去の傾向や売上時点におけるその他の既知の要素に基づいて見積もっており、直近の情報に基づき定期的な見直しをしております。

なお、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が217百万円減少し、売上原価は171百万円減少し、販売費及び一般管理費は11百万円減少しております。これにより、営業損失は34百万円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ33百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は53百万円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,615	2,269	7,884	257	8,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	1	5	—	5
計	5,619	2,270	7,890	257	8,147
セグメント利益又は損失(△)	△8	△114	△122	4	△117

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△122
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△117

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,285	2,527	9,813	245	10,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	8	20	—	20
計	7,297	2,536	9,833	245	10,078
セグメント利益又は損失(△)	△71	2	△69	12	△57

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△69
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△57

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	2,091	1,640	3,732	220	3,953
中国	649	687	1,336	—	1,336
アジア(中国除く)	1,717	95	1,813	0	1,813
アメリカ	1,923	50	1,974	22	1,996
欧州	764	10	775	0	775
その他	138	42	181	1	183
顧客との契約から生じる収益	7,285	2,527	9,813	245	10,058
外部顧客への売上高	7,285	2,527	9,813	245	10,058

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。